定期点検記録様式(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果	起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
		経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋		路 線 名	市道第4177号線		管 轄	埼玉県	橋梁コード	-
所 在 地	自	新座市堀ノ内1丁目	距 離 標	自			新座市	調書更新年月日	2022年1月28日
	至	新座市馬場4丁目		至			新座市都市整備部道路課	現地確認年月日	2021年10月8日

供用開始日	1971年1月31日	橋長	37.10 m	活荷重・等級		TL-14 一等橋			適用示方書		鋼道路橋設計示方書(昭和39年)					交通条件	調 査 年	
上部構造形式	2径間連続PCポステン中空床版橋			幅員	全 幅 員	4.30 m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯		交 通 量	台
					有効幅員	3.50 m	0.40 m	-	3.50 m	1	-	-	-	-	-	-			昼間12時間
下部構造形式	扶壁式橋台(2基)、壁式橋脚(1基)	備考	・点検方法：高所作業車(12m) ・桁下条件：関越自動車道 ・第三者被害予防措置範囲：有(第1径間、第2径間) ・補修・補強歴の有無：有(耐震補強工事[2007年]、伸縮装置設置替工[2010年]) ・規制方法：車線減少規制(夜間) ・関係協議先：NEXCO東日本														大型混入率	%
基礎形式	直接基礎(3基)																荷 重 制 限	t

総合検査結果

健全度 (橋単位)	Ⅱ

橋梁診断員	NEテクノ株式会社 山中 大樹

本橋は、1971年に竣工後50年が経過している2径間連続PCポステン中空床版橋である。
確認された損傷に対する対策は以下の通りである。

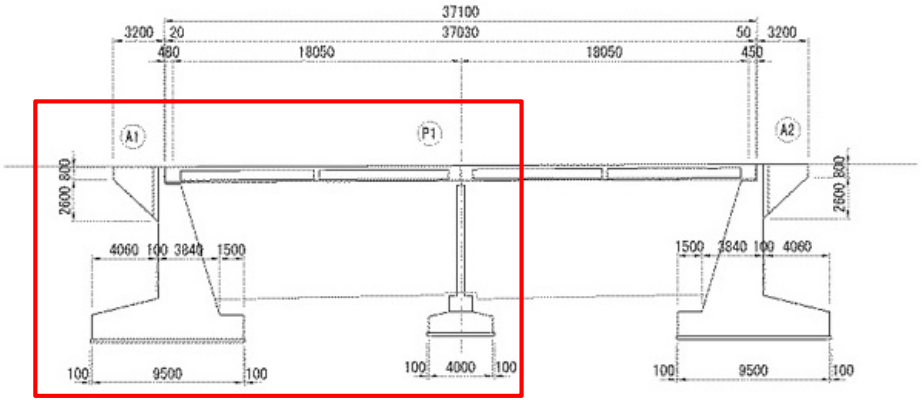
(1)対策区分
E1・E2:「緊急対応が必要な損傷」
・特になし
C2:「橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修する必要のある損傷」
・特になし
C1:「予防保全の観点から、速やかに補修する必要のある損傷」
・特になし
S1:「詳細調査が必要な損傷」 S2:「追跡調査が必要な損傷」
・特になし
B:「状況に応じて補修が必要な損傷」
・腐食、防食機能の劣化:支承本体、防護柵　防食機能の劣化:添架物　・ひびわれ:主桁、竪壁、柱部・壁部　・剥離・鉄筋露出:主桁、胸壁、竪壁
・補修・補強材の損傷、うき:柱部・壁部　・その他(セパレータの未処理):主桁　・その他(後打材ひびわれ)、変色・劣化:伸縮装置　・漏水・滞水:胸壁、竪壁　・変形・欠損:竪壁
M:「維持工事で対応する必要のある損傷」
・舗装の異常:舗装　・支承部の機能障害、土砂詰まり:支承本体　・その他(土砂堆積):橋台その他　・その他(ツタの繁殖):主桁、床版、竪壁、翼壁、地覆
(2)特記事項
・A1側の主桁、床版、A1橋台のツタの繁殖、A2橋台、支承の土砂詰まりは維持工事による撤去を速やかに行うことが望ましい。

定期点検記録様式(その2) 径間別一般図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056, 139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

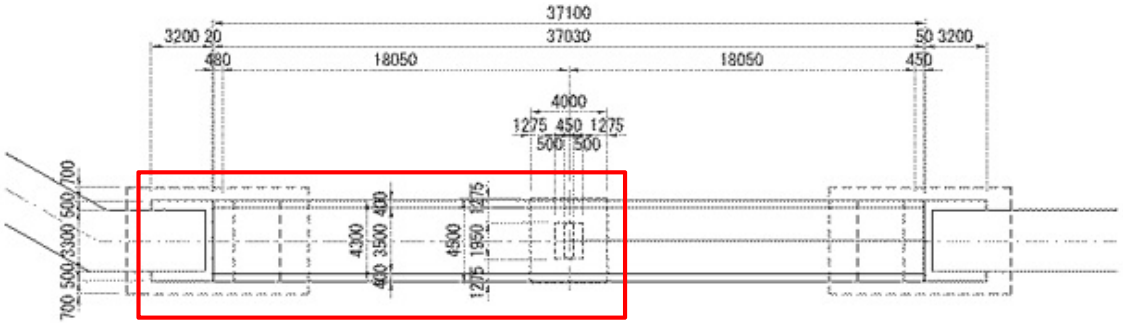
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

全体図

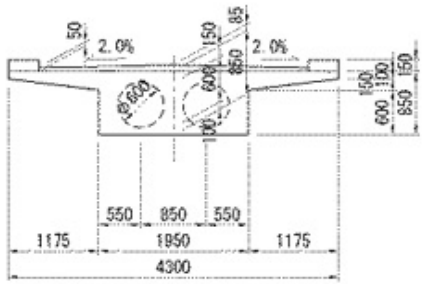


一般図

平面図



断面図



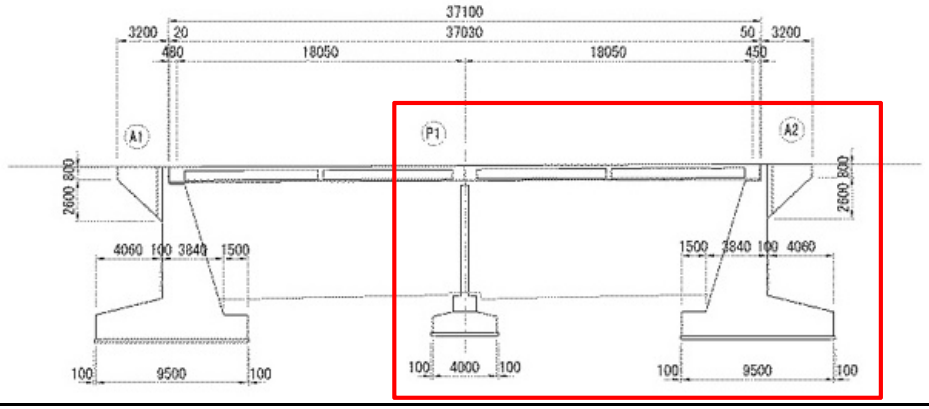
○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない個所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式(その2) 径間別一般図	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

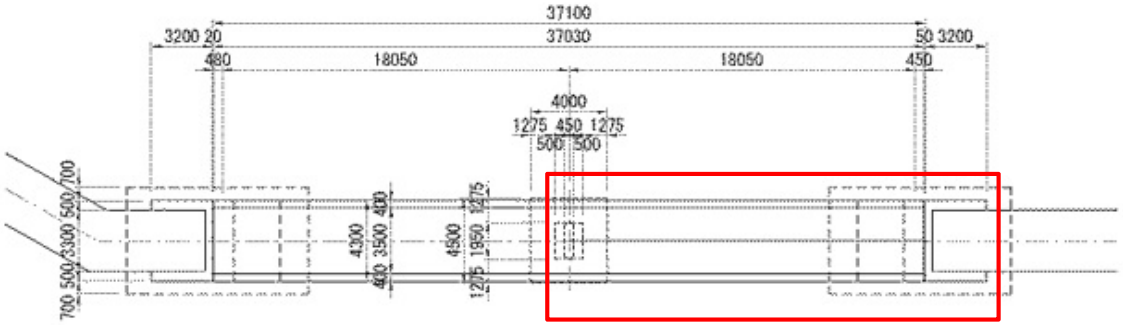
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

全体図

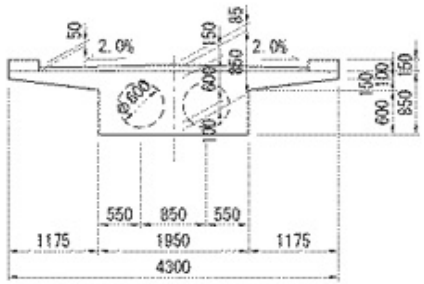


一般図

平面図



断面図



○全体図、一般図には近接目視による診断ができていない個所や近接目視によらない方法を講じた箇所を明記すること。

定期点検記録様式（その3） 現地状況写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	1	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	2	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	3	撮影年月日	2021年9月21日
径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ（必要に応じて）	全景 左が起点(車上より撮影)			メモ（必要に応じて）	正面 手前が起点			メモ（必要に応じて）	側面 左が起点(車上より撮影)		

写真番号	4	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	5	撮影年月日	2021年9月29日	写真番号	6	撮影年月日	2021年10月8日
径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ（必要に応じて）	橋面 手前が起点			メモ（必要に応じて）	下面 手前が起点			メモ（必要に応じて）	下部工 A1橋台		

定期点検記録様式(その3) 現地状況写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

現地状況写真

写真番号	7	撮影年月日	2021年9月29日	写真番号	8	撮影年月日	2021年9月29日	写真番号	9	撮影年月日	2021年10月8日
径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	下部工 P1橋脚			メモ(必要に応じて)	A1支承			メモ(必要に応じて)	P1支承		

写真番号	10	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	11	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	12	撮影年月日	2021年10月8日
径間番号	1			径間番号	1			径間番号	1		
メモ(必要に応じて)	A1伸縮装置			メモ(必要に応じて)	橋名板			メモ(必要に応じて)	KYミーティング		

定期点検記録様式（その3） 現地状況写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

現地状況写真

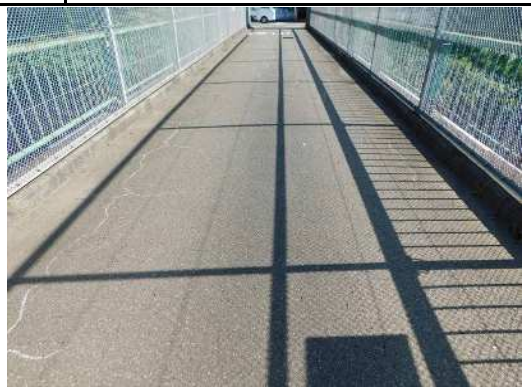
写真番号	13	撮影年月日	2021年10月8日	写真番号	14	撮影年月日	2021年10月8日	写真番号		撮影年月日	
径間番号	1			径間番号	1			径間番号			
メモ（必要に応じて）	点検状況 高所作業車(12m)			メモ（必要に応じて）	規制状況 車線減少規制			メモ（必要に応じて）			
写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号				径間番号				径間番号			
メモ（必要に応じて）				メモ（必要に応じて）				メモ（必要に応じて）			

定期点検記録様式（その3） 現地状況写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	15	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	16	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号	17	撮影年月日	2021年9月21日
径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
メモ（必要に応じて）	正面 手前が起点			メモ（必要に応じて）	側面 左が起点			メモ（必要に応じて）	橋面 手前が起点		
											
写真番号	18	撮影年月日	2021年10月8日	写真番号	19	撮影年月日	2021年10月8日	写真番号	20	撮影年月日	2021年9月29日
径間番号	2			径間番号	2			径間番号	2		
メモ（必要に応じて）	下面 手前が起点			メモ（必要に応じて）	下部工 A2橋台			メモ（必要に応じて）	A2支承		

定期点検記録様式（その3） 現地状況写真	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

現地状況写真

写真番号	21	撮影年月日	2021年9月21日	写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号	2			径間番号				径間番号			
メモ（必要に応じて）	A2伸縮装置			メモ（必要に応じて）				メモ（必要に応じて）			

写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日		写真番号		撮影年月日	
径間番号				径間番号				径間番号			
メモ（必要に応じて）				メモ（必要に応じて）				メモ（必要に応じて）			

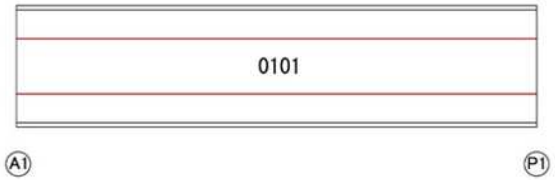
定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径間番号	1

起点側			終点側			橋梁ID	
	緯度	35° 46′ 50.0″		緯度	35° 46′ 50.9″		35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

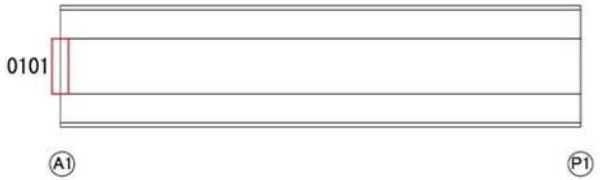
フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

部材番号図及び要素番号図

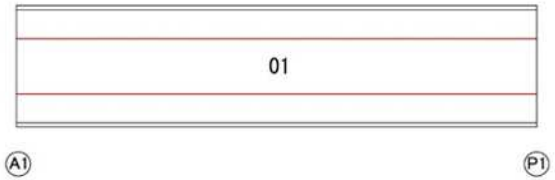
主桁(Mg)
【要素番号】



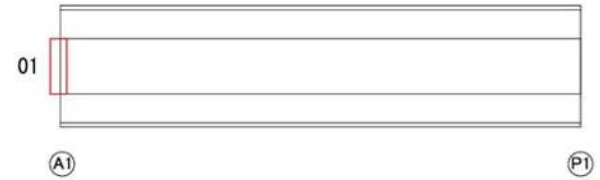
PC定着部(Cn)
【要素番号】



主桁(Mg)
【部材番号】



PC定着部(Cn)
【部材番号】



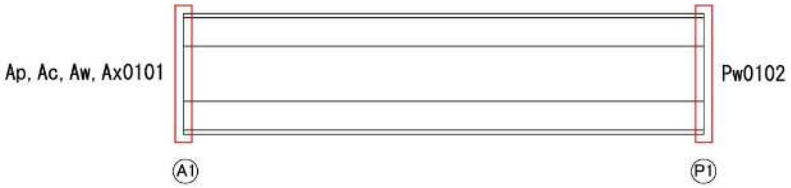
定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

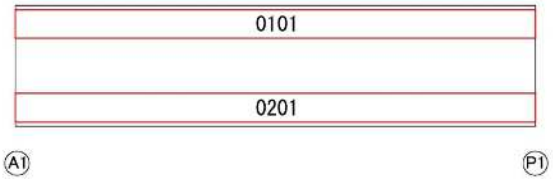
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

部材番号図及び要素番号図

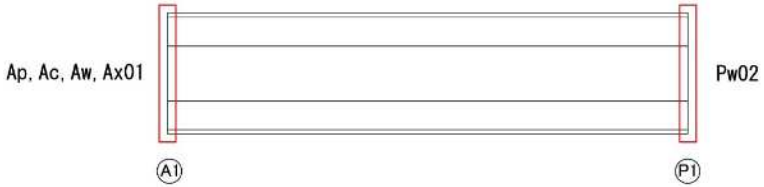
胸壁、竪壁、翼壁、橋台その他(Ap、Ac、Aw、Ax) 、柱部・壁部(Pw)
【要素番号】



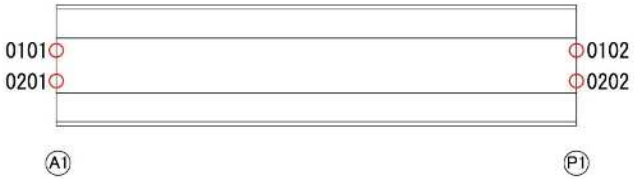
床版(Ds)
【要素番号】



胸壁、竪壁、翼壁、橋台その他(Ap、Ac、Aw、Ax) 、柱部・壁部(Pw)
【部材番号】



支承本体、アンカーボルト、沓座モルタル(Bh、Ba、Bm)
【要素番号】



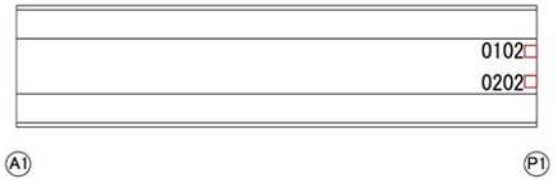
定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

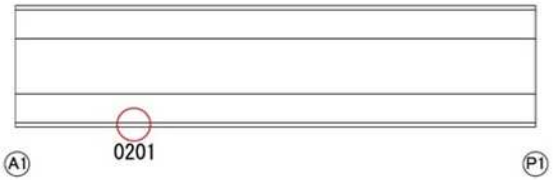
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

部材番号図及び要素番号図

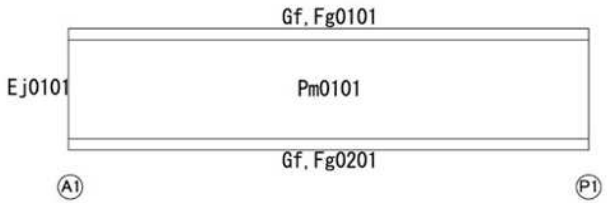
落橋防止システム(Sf)
【要素番号】



添架物(Ut)
【要素番号】



防護柵(Gf)、地覆(Fg)、伸縮装置(Ej)、舗装(Pm)
【要素番号】



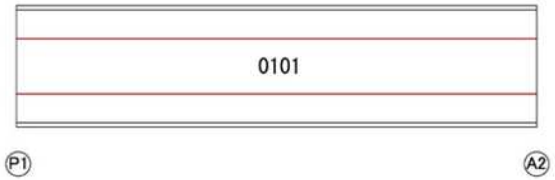
定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

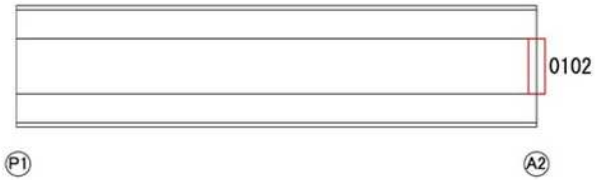
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

部材番号図及び要素番号図

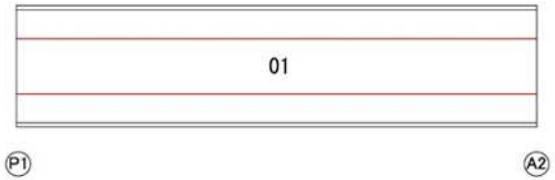
主桁(Mg)
【要素番号】



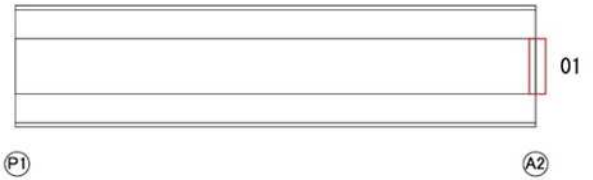
PC定着部(Cn)
【要素番号】



主桁(Mg)
【部材番号】



PC定着部(Cn)
【部材番号】



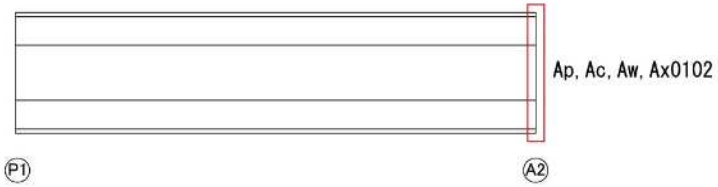
定期点検記録様式（その4） 部材番号図及び要素番号図	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

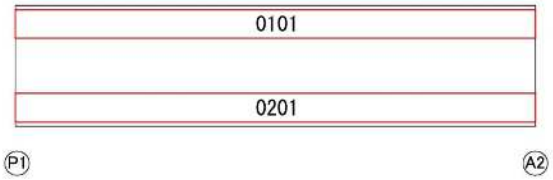
フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

部材番号図及び要素番号図

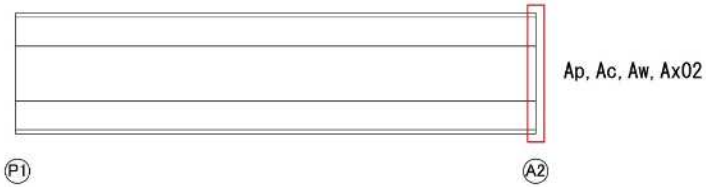
胸壁、竪壁、翼壁、橋台その他(Ap、Ac、Aw)
【要素番号】



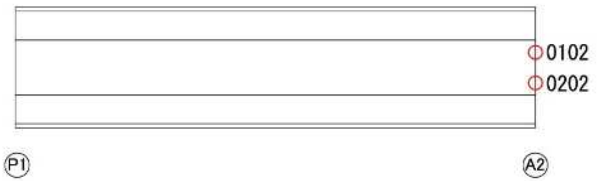
床版(Ds)
【要素番号】



胸壁、竪壁、翼壁、橋台その他(Ap、Ac、Aw)
【部材番号】



支承本体、アンカーボルト、沓座モルタル(Bh、Ba、Bm)
【要素番号】



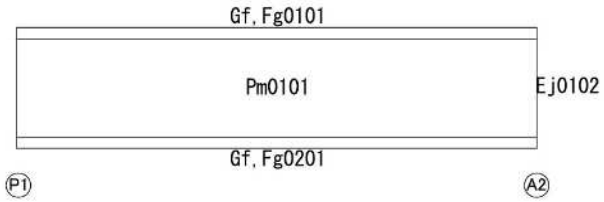
定期点検記録様式(その4) 部材番号図及び要素番号図	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

部材番号図及び要素番号図

防護柵(Gf)、地覆(Fg)、伸縮装置(Ej)、舗装(Pm)
【要素番号】



定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所

	部材名	部材番号	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援	該当なし				
記録のための支援	PC定着部	01	0101	主桁と胸壁が接近しているため、目視不可	

○近接目視又は打音、触診ができていない個所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

定期点検記録様式(その5) 状態把握の方法	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

近接目視による状態の把握ができていない箇所・近接目視によらない方法を講じた箇所

	部材名	部材番号	要素番号	理由	対応策・機器等の性能や条件
健全性の診断のための支援	該当なし				
記録のための支援	PC定着部	01	0102	主桁と胸壁が接近しているため、目視不可	

○近接目視又は打音、触診ができていない個所及び近接目視によらない方法を講じた箇所を記載する。

定期点検記録様式(その6) 橋の健全性の診断に関する所見	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

健全度判定

写真番号	1,2	径間番号	1	部材名	主桁	部材番号	01
損傷の種類	ひびわれ						

損傷写真

主桁側面

主桁下面

所見

・主桁側面に鉛直方向のひびわれが、下面に橋軸直角方向のひびわれが見られる。
・ひびわれ幅は側面が0.2mm、下面が0.1mm程度である。
・施工時の乾燥収縮によるひびわれと推定されるが、前回点検に記録はない。
・しかしながら、現時点で速やかな補修の必要はないため、
次回点検時に経過を観察し、進行状況を確認することが望ましい。

上記より、状況に応じて補修を行うことが望ましい損傷であるため、対策区分を「B」健全度を「Ⅰ」とする。

今回判定	部材毎の対策区分判定	B	部材毎の健全性の診断	Ⅰ
前回判定	部材毎の対策区分判定	－	部材毎の健全性の診断	－

写真番号	5	径間番号	1	部材名	主桁	部材番号	01
損傷の種類	その他(ツタの繁殖)						

損傷写真

主桁下面

所見

・主桁にツタの繁殖が見られる。
・床版、A1橋台、地覆も同様である。
・今のところツタの繁殖に起因する損傷は見られないが、伝い水や湿潤状態の継続により各部材の損傷を招く恐れがある。
・また、各部材の視認性が悪いため、変状の把握、進行の観察を妨げる要因となる。

上記より、維持工事による撤去を行うことが望ましい損傷であるため、対策区分を「M」健全度を「Ⅱ」とする。

今回判定	部材毎の対策区分判定	M	部材毎の健全性の診断	Ⅱ
前回判定	部材毎の対策区分判定	M	部材毎の健全性の診断	Ⅱ

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

定期点検記録様式(その6) 橋の健全性の診断に関する所見	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

健全度判定

写真番号	54	径間番号	2	部材名	支承本体	部材番号	00
損傷の種類	支承部の機能障害、土砂詰まり						

損傷写真

A2上支承本体0102

所見

・支承本体に土砂詰まりが見られる。
・現時点で支承本体の腐食は表面錆に留まっているが、本損傷により湿潤状態が継続することで腐食の進行を助長し、支承機能に影響を与える恐れがある。
・予防保全の観点から、速やかな補修の必要があるが、前回点検と比較しても堆積土砂の量は顕著に増えておらず、対策工としては現況土砂の撤去で足りると考えられる。

上記より、維持工事による撤去を行うことが望ましい損傷であるため、対策区分を「M」健全度を「Ⅱ」とする。

今回判定	部材毎の対策区分判定	M	部材毎の健全性の診断	Ⅱ
前回判定	部材毎の対策区分判定	M	部材毎の健全性の診断	Ⅱ

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真番号		径間番号		部材名		部材番号	
損傷の種類							

損傷写真

所見

今回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	
前回判定	部材毎の対策区分判定		部材毎の健全性の診断	

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
							補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性		原因		健全度(部材単位)	所見等
		名称	記号	部材番号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分Eの損傷			区分S1の損傷	区分S2の損傷	確定	推定		
												区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷						
S	C	主桁	Mg	01	d	c	ひびわれ											⑦その他(乾燥収縮・温度応力)	Ⅰ	主桁側面に鉛直方向の、下面に橋軸直角方向のひびわれが見られる。施工時の乾燥収縮による損傷と推定されるが、前回点検時に記録はない。 次回点検時に経過を観察し、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
S	C	主桁	Mg	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	主桁側面に鉄筋露出が見られる。施工時のかぶり不足による損傷と推定される。 損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
S	C	主桁	Mg	01	e	e					その他(ツタの繁殖)						⑦その他(環境的要因)		Ⅱ	ツタの繁殖が見られる。 点検時、変状の把握の妨げになるなど、適切な維持管理に影響を与えるため、維持工事による撤去を行うことが望ましい。
A	C	胸壁	Ap	01	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(防水・排水工不良)	Ⅰ	胸壁に表面剥離が見られる。橋台への漏水による損傷と推定される。 損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	胸壁	Ap	01	e	e	漏水・滞水											⑦その他(防水・排水工不良)	Ⅰ	胸壁に漏水跡が見られる。上記剥離の原因とはなっているが、損傷は進行しておらず、橋座部材の損傷への影響も見られない。 状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	竪壁	Ac	01	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	竪壁前面に剥離が見られる。施工時のかぶり不足による損傷と推定される。 損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	竪壁	Ac	01	e	e					その他(ツタの繁殖)						⑦その他(環境的要因)		Ⅱ	ツタの繁殖が見られる。 点検時、変状の把握の妨げになるなど、適切な維持管理に影響を与えるため、維持工事による撤去を行うことが望ましい。

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
							補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性		原因		健全度(部材単位)	所見等
		名称	記号	部材番号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分Eの損傷			区分S1の損傷	区分S2の損傷	確定	推定		
												区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷						
A	C	竪壁	Ac	01	c	c	変形・欠損											⑦その他(衝突)	Ⅰ	竪壁に欠損が見られる。車両接触による損傷と推定される。 損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	翼壁	Aw	01	e	e					その他(ツタの繁殖)						⑦その他(環境的要因)		Ⅱ	ツタの繁殖が見られる。 点検時、変状の把握の妨げになるなど、適切な維持管理に影響を与えるため、維持工事による撤去を行うことが望ましい。
P	C	柱部・壁部	Pw	02	d	c	ひびわれ											⑦その他(乾燥収縮・温度応力)	Ⅰ	橋脚塗装面にひびわれが見られる。施工時の乾燥収縮による損傷と推定される。前回点検からひびわれ幅の拡大は見られるが、漏水・サビ汁は見られない。次回点検時に経過を観察したうえで、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
P	C	柱部・壁部	Pw	02	e	e	うき											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	橋脚側面にうきが見られる。損傷個所は剥落防止工を実施しており、第三者被害の可能性は小さい。 状況に応じて補修を行うことが望ましい。
P	C	柱部・壁部	Pw	02	c	c	補修・補強材の損傷											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	上記2点の損傷に同じ

定期点検記録様式(その7) 対策区分判定結果(主要部材)	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										診断結果			
							補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性		原因		健全度(部材単位)	所見等
		名称	記号	部材番号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分Eの損傷			区分S1の損傷	区分S2の損傷	確定	推定		
												区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷						
S	C	主桁	Mg	01	c	c	剥離・鉄筋露出											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	主桁下面にスペーサの露出が見られる。製作不良による損傷と推定される。 損傷は軽微である為、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
S	C	主桁	Mg	01	e	e	その他(セパレータCoの脱落)											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	主桁下面にセパレータの後埋めモルタルの脱落が見られる。製作不良による損傷と推定される。 損傷は軽微である為、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	竪壁	Ac	02	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他(製作・施工不良)	Ⅰ	竪壁前面に鉄筋露出が見られる。施工時のかぶり不足による損傷と推定される。 損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	竪壁	Ac	02	e	e	漏水・滞水											⑦その他(防水・排水工不良)	Ⅰ	橋台側面に漏水が見られる。この影響による橋台の損傷は確認されておらず、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
A	C	橋台その他	Ax	02	e	e					その他(土砂堆積)							⑦その他(防水・排水工不良)	Ⅱ	橋台変位制限装置の天端に土砂堆積が見られる。支承本体の土砂詰まりの原因となっている為、維持工事による撤去を行う必要がある。

定期点検記録様式（その8） 対策区分判定結果（様式（その7）に記載以外の部材）	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分										診断結果	
						補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性			
											区分Eの損傷						
		名称	記号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷	区分S1の損傷	区分S2の損傷	健全度（部材単位）	所見等
B	S	支承本体	Bh	c	c	腐食										Ⅰ	支承本体に腐食が見られる。経年による塗装劣化によるものと推定される。表面錆に留まっており、前回からの進行も見られないため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
B	S	支承本体	Bh	e	e	防食機能の劣化										Ⅰ	上記に同じ
R	S	防護柵	Gf	c	c	腐食										Ⅰ	防護柵全体に腐食が見られる。経年による塗装劣化および雨水の供給によるものと推定される。表面錆に留まっており、前回からの進行も見られないため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
R	S	防護柵	Gf	e	e	防食機能の劣化										Ⅰ	上記に同じ
R	C	地覆	Fg	e	e					その他（ツタの繁殖）						Ⅱ	ツタの繁殖が見られる。 点検時、変状の把握の妨げになるなど、適切な維持管理に影響を与えるため、維持工事による撤去を行うことが望ましい。
R	X	伸縮装置	Ej	e	e	その他（後打材ひびわれ）										Ⅰ	伸縮装置後打材にひびわれが見られる。損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。 なお、前回点検時に記録された腐食、変色・劣化は確認されなかった。
R	A	舗装	Pm	c	c					舗装の異常						Ⅱ	舗装に全体的なひびわれが見られる。床版への影響は確認されていないが、ひびわれ幅が10.0mmの箇所も確認され、防水の為、維持工事によるパッチングを行うことが望ましい。
U	S	添架物	Ut	e	e	防食機能の劣化										Ⅰ	標識板取付金具に防食被膜の変色が見られる。経年による被膜劣化および雨水の供給によるものと推定される、損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。

定期点検記録様式（その8） 対策区分判定結果（様式（その7）に記載以外の部材）	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分										診断結果	
						補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性			
											区分Eの損傷						
		名称	記号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷	区分S1の損傷	区分S2の損傷	健全度（部材単位）	所見等
B	S	支承本体	Bh	c	c	腐食										Ⅰ	支承本体に腐食が見られる。経年による塗装劣化によるものと推定される。表面錆に留まっており、前回からの進行も見られないため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
B	S	支承本体	Bh	e	e	防食機能の劣化										Ⅰ	上記に同じ
B	S	支承本体	Bh	e	e					支承部の機能障害						Ⅱ	支承本体に土砂詰まりが見られる。これにより、湿潤状態が継続することで腐食を助長し、支承機能に影響を与える恐れがある。速やかな補修が必要ではあるが、対策は土砂の撤去で足りるため、維持工事による対応が望ましい。なお、前回からの土砂量は顕著に増加しておらず、継続した土砂の流入はないと考えられる。
B	S	支承本体	Bh	e	e					土砂詰まり						Ⅱ	上記に同じ
R	S	防護柵	Gf	c	c	腐食										Ⅰ	防護柵全体に腐食が見られる。経年による塗装劣化および雨水の供給によるものと推定される。表面錆に留まっており、前回からの進行も見られないため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
R	S	防護柵	Gf	e	e	防食機能の劣化										Ⅰ	上記に同じ
R	X	伸縮装置	Ej	e	e	その他（後打材ひびわれ）										Ⅰ	伸縮装置後打材にひびわれが見られる。損傷は軽微であるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。
R	X	伸縮装置	Ej	e	e	変色・劣化										Ⅰ	地覆上のゴム材に劣化が見られる。橋台の漏水の原因となっている可能性はあるが、前回点検に記録はなく、次回点検時に経過を観察した上で、状況に応じて補修を行うことが望ましい。

定期点検記録様式（その8） 対策区分判定結果（様式（その7）に記載以外の部材）	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	起点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

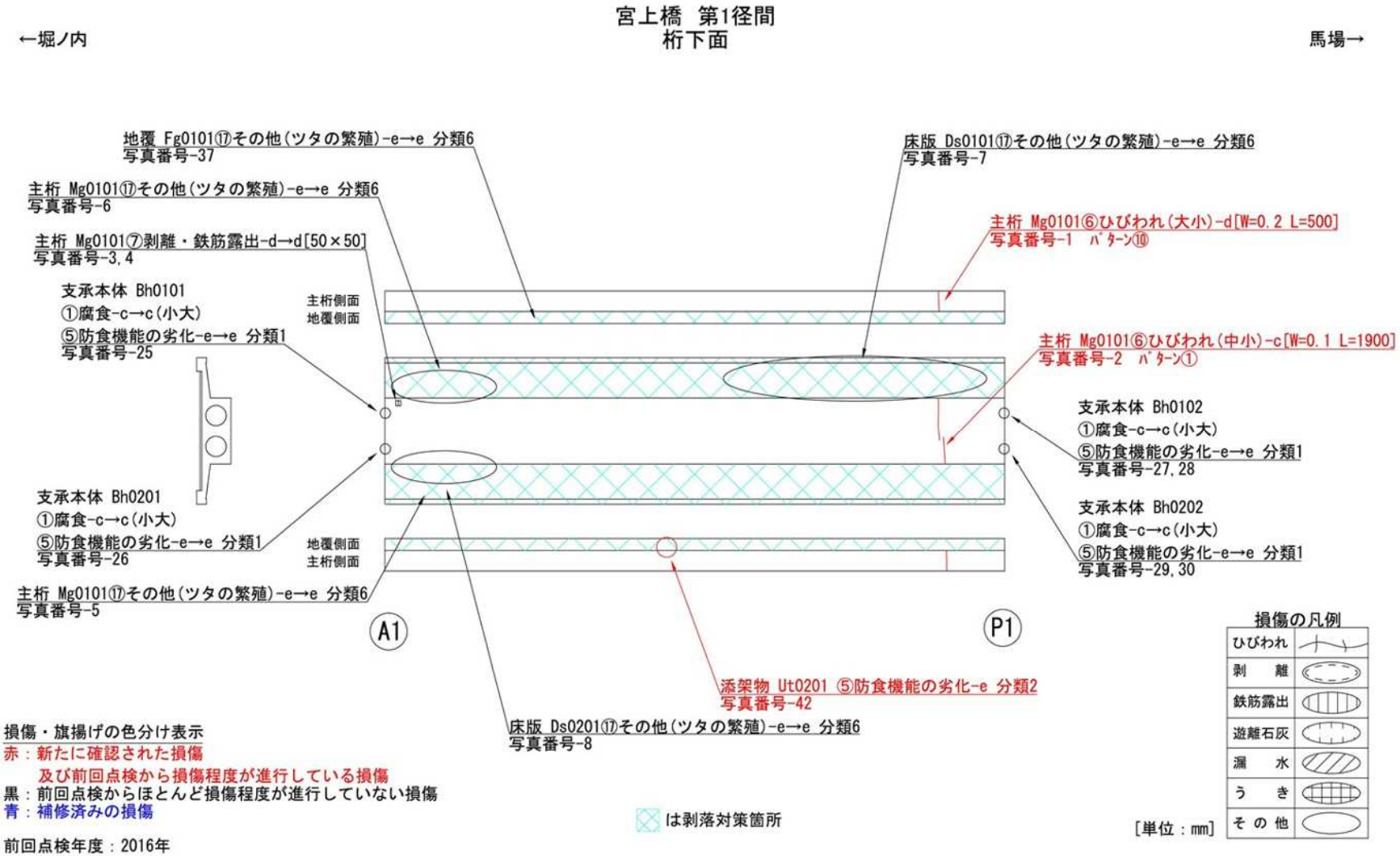
工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分										診断結果	
						補修等の必要性				維持工事で対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の必要性			
											区分Eの損傷						
		名称	記号	最大	最小	区分Bの損傷	区分C1の損傷	区分C2の損傷	更新	区分Mの損傷	区分E1の損傷	更新	区分E2の損傷	区分S1の損傷	区分S2の損傷	健全度（部材単位）	所見等
R	A	舗装	Pm	c	c					舗装の異常						Ⅱ	舗装に全体的なひびわれが見られる。床版への影響は確認されていないが、ひびわれ幅が10.0mmの箇所も確認され、防水の為、維持工事によるパッチングを行うことが望ましい。

データ記録様式（その9） 損傷図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

損傷図



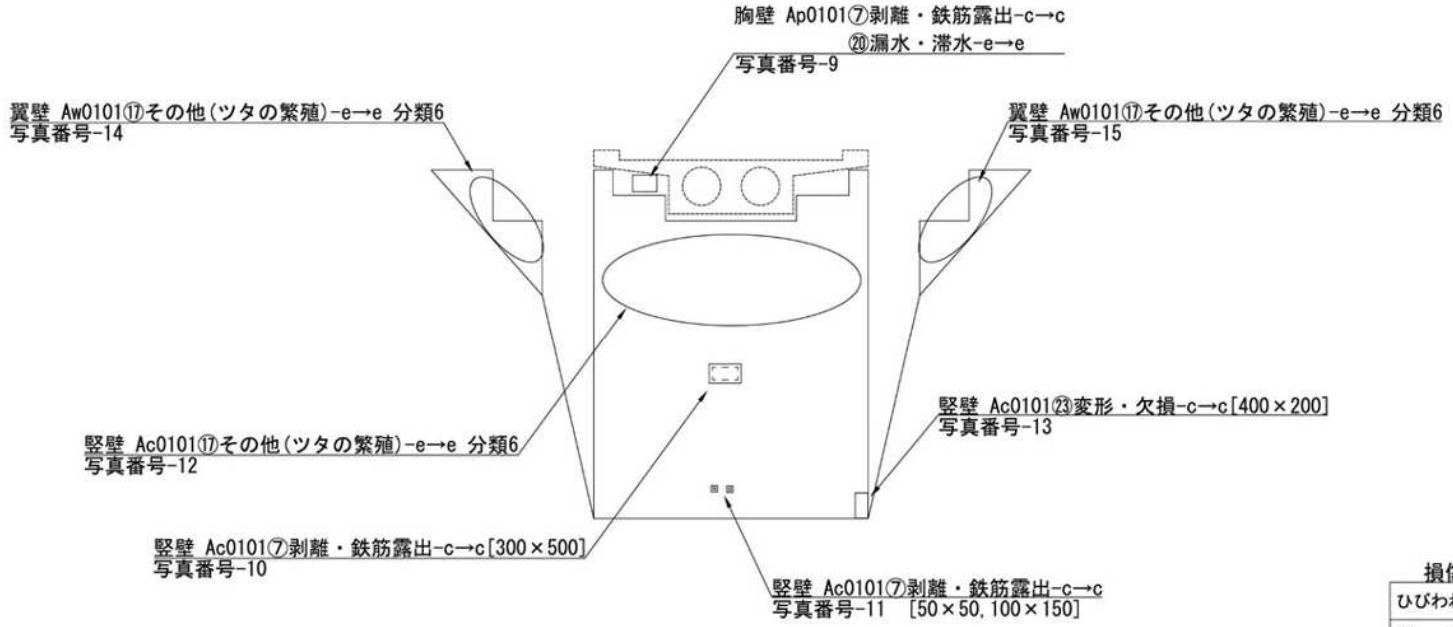
データ記録様式（その9） 損傷図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図

宮上橋 第1径間
A1橋台



損傷の凡例

ひびわれ	
剥　離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏　水	
う　き	
そ の 他	

[単位：mm]

損傷・旗揚げの色分け表示
赤：新たに確認された損傷
　　及び前回点検から損傷程度が進行している損傷
黒：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
青：補修済みの損傷

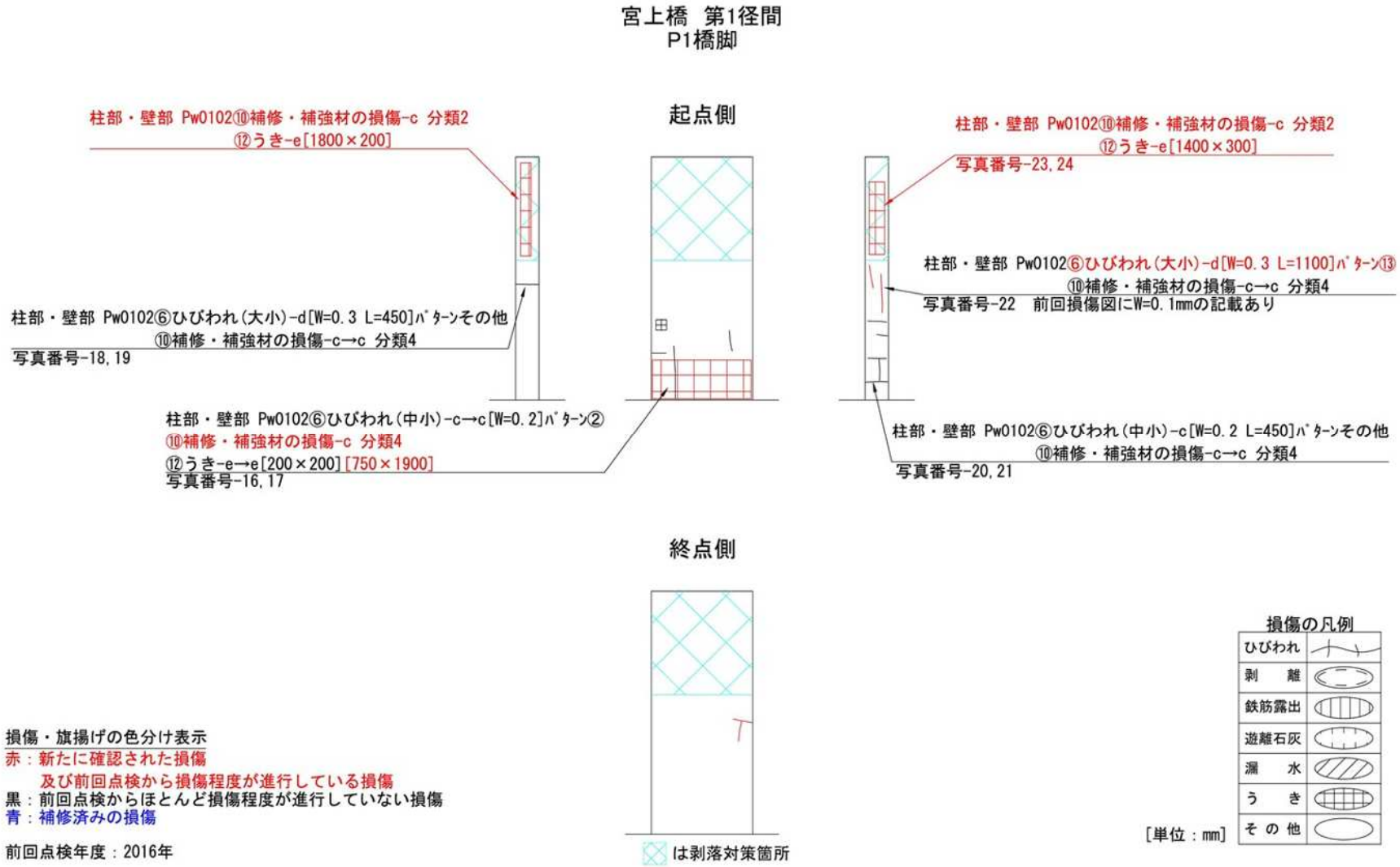
前回点検年度：2016年

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図



データ記録様式（その9） 損傷図	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図

宮上橋 第1径間
橋 面

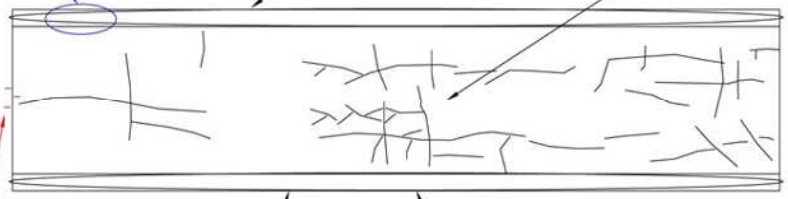
←堀ノ内　　馬場→

防護柵 Gf0101
①腐食-c→c(小大)
⑤防食機能の劣化-e→e 分類1
写真番号-31,32

防護柵 Gf0101⑰その他(ツタの繁殖)-e→a(撤去済)
写真番号-33

舗装 Pm0101 ⑮舗装の異常-c→c
写真番号-40,41 [W=10.0]

伸縮装置 Ej0101
⑰その他(後打材のひびわれ)-e 分類6
⑲変色・劣化-e→a(損傷なし)
写真番号-38,39



A1　　P1

防護柵 Gf0201
①腐食-c→c(小大)
⑤防食機能の劣化-e→e 分類1
写真番号-34,35

防護柵 Gf0201
①腐食-c→c(小大)
⑤防食機能の劣化-e→e 分類1
写真番号-36

損傷の凡例

ひびわれ	
剥　離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏　水	
う　き	
そ の 他	

[単位：mm]

損傷・旗揚げの色分け表示
赤：新たに確認された損傷
　及び前回点検から損傷程度が進行している損傷
黒：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
青：補修済みの損傷

前回点検年度：2016年

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	2

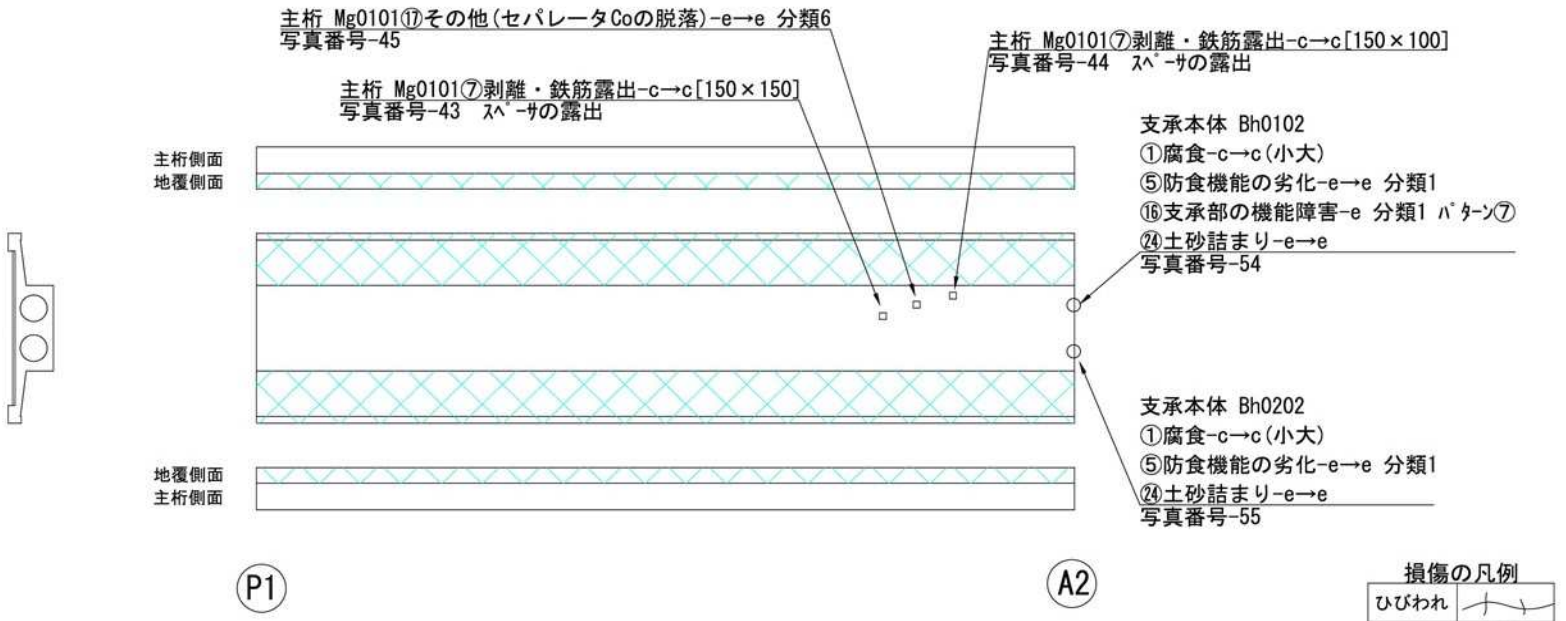
起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図

宮上橋 第2径間
桁下面

←堀ノ内　　馬場→



損傷の凡例

ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水	
うき	
その他	

[単位：mm]

損傷・旗揚げの色分け表示
赤：新たに確認された損傷
　及び前回点検から損傷程度が進行している損傷
黒：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
青：補修済みの損傷

前回点検年度：2016年

は剥落対策箇所

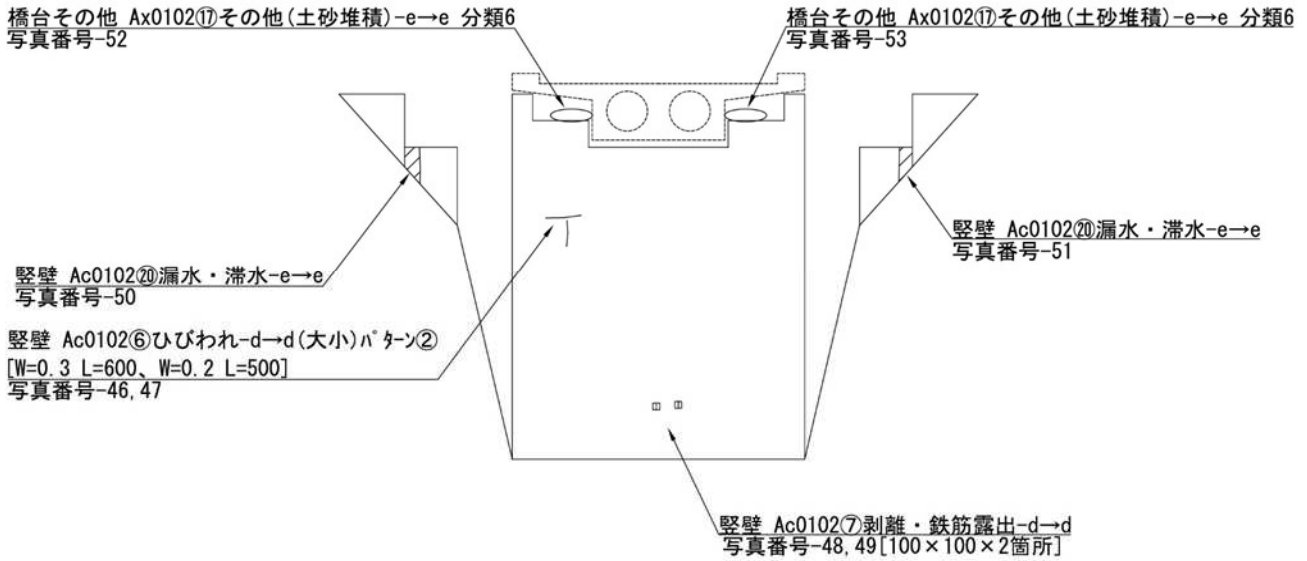
データ記録様式（その9） 損傷図	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図

宮上橋 第2径間
A2橋台



損傷の凡例

ひびわれ	
剥　離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏　水	
う　き	
そ の 他	

[単位：mm]

損傷・旗揚げの色分け表示
赤：新たに確認された損傷
　　及び前回点検から損傷程度が進行している損傷
黒：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
青：補修済みの損傷

前回点検年度：2016年

データ記録様式(その9) 損傷図	径間番号	2

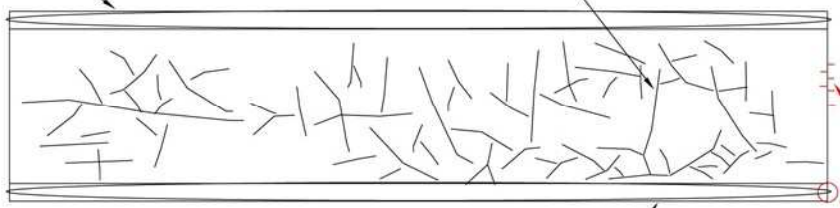
起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

損傷図

宮上橋 第2径間
橋面

←堀ノ内　　馬場→



防護柵 Gf0101
①腐食-c→c(小大)
⑤防食機能の劣化-e→e 分類1
写真番号-56,57

舗装 Pm0101 ⑮舗装の異常-c→c
写真番号-62,63 [W=10.0]

伸縮装置 Ej0102
⑰その他(後打材ひびわれ)-e 分類6
写真番号-60

伸縮装置 Ej0102⑲変色・劣化-e 分類2
写真番号-61

P1

A2

防護柵 Gf0201
①腐食-c→c(小大)
⑤防食機能の劣化-e→e 分類1
写真番号-58,59

損傷の凡例

ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水	
うき	
その他	

[単位：mm]

損傷・旗揚げの色分け表示
赤：新たに確認された損傷
　及び前回点検から損傷程度が進行している損傷
黒：前回点検からほとんど損傷程度が進行していない損傷
青：補修済みの損傷

前回点検年度：2016年

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	1	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度
－
メモ
主桁側面の鉛直方向のひびわれ {W=0.2mm L=500mm] 新規損傷

写真番号	2	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c

前回損傷程度
－
メモ
主桁下面の橋軸直角方向のひびわれ {W=0.1mm L=1900mm] 新規損傷

写真番号	3	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度
d
メモ
主桁下面の鉄筋露出 [50×50mm] 進行は見られない

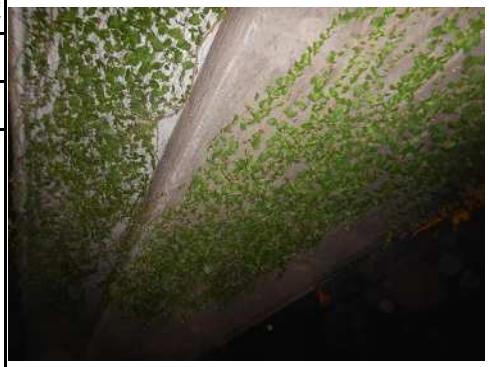
写真番号	前回-1	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度
メモ
⑦剥離・鉄筋露出-d

写真番号	4	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度
d
メモ
写真3の防錆処理後

写真番号	5	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e



前回損傷程度
e
メモ
ツタの繁殖 前回点検から繁茂の拡大が見られる

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	前回-3	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	
メモ	⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	6	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	e
メモ	ツタの繁殖 進行は見られない

写真番号	前回-4	径間番号	1
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	
メモ	⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	7	径間番号	1
部材名	床版	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	e
メモ	ツタの繁殖 進行は見られない

写真番号	前回-5	径間番号	1
部材名	床版	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	
メモ	⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	8	径間番号	1
部材名	床版	要素番号	0201
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	e
メモ	ツタの繁殖 進行は見られない

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	前回-6	径間番号	1
部材名	床版	要素番号	0201
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度	
メモ	⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	9	径間番号	1
部材名	胸壁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度	c
メモ	胸壁の剥離 その他損傷・漏水・滞水-e 進行は見られない

写真番号	前回-13	径間番号	1
部材名	橋台[胸壁]	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度	
メモ	⑦剥離・鉄筋露出-c ⑳漏水・滞水-e

写真番号	10	径間番号	1
部材名	竪壁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度	c
メモ	竪壁の剥離 300×500mm 進行は見られない

写真番号	前回-14	径間番号	1
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度	
メモ	⑦剥離・鉄筋露出-c

写真番号	11	径間番号	1
部材名	竪壁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度	c
メモ	竪壁の剥離 50×50mm, 100×150mm 進行は見られない

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	前回-15	径間番号	1
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
⑦剥離・鉄筋露出-c

写真番号	12	径間番号	1
部材名	竪壁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
ツタの繁殖 進行は見られない

写真番号	前回-16	径間番号	1
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	13	径間番号	1
部材名	竪壁	要素番号	0101
損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
竪壁の欠損 400×200mm

写真番号	前回-17	径間番号	1
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0101
損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
23 変形・欠損-c

写真番号	14	径間番号	1
部材名	翼壁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
ツタの繁殖 進行は見られない

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	前回-18	径間番号	1	写真番号	15	径間番号	1	写真番号	前回-19	径間番号	1
部材名	橋台[翼壁]	要素番号	0101	部材名	翼壁	要素番号	0101	部材名	橋台[翼壁]	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e	損傷の種類	その他	損傷程度	e	損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

⑰その他-e(ツタの繁殖)

前回損傷程度

e

メモ

ツタの繁殖

進行は見られない

前回損傷程度

メモ

⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	16	径間番号	1	写真番号	前回-20	径間番号	1	写真番号	17	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102	部材名	橋脚[柱部・壁部]	要素番号	0102	部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	損傷の種類	うき	損傷程度	e

前回損傷程度

c

メモ

壁部鉛直方向のひびわれ
[W=0.2mm]

その他損傷
・補修・補強材の損傷-c
・うき-e[200×200mm、750×1900mm]

前回点検時、確認されなかったうきの範囲が見られる

前回損傷程度

メモ

⑥ひびわれ(中小)-c
⑫うき-e

前回損傷程度

メモ

写真16の新規うきの近接

750mm×1900mm

新規損傷

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	18	径間番号	1	写真番号	前回-22	径間番号	1	写真番号	19	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102	部材名	橋脚[柱部・壁部]	要素番号	0102	部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 壁部側面の水平方向のひびわれ

その他損傷
・ひびわれ-d(大小)

W=0.3mm,L=450mm

進行は見られない

前回損傷程度:

メモ: ⑩補修・補強材の損傷-c

前回損傷程度: c

メモ: 写真18の近接

写真番号	20	径間番号	1	写真番号	前回-23	径間番号	1	写真番号	21	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102	部材名	橋脚[柱部・壁部]	要素番号	0102	部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 壁部側面の水平方向のひびわれ

その他損傷
・ひびわれ-c(中小)

W=0.2mm,L=450mm

進行は見られない

前回損傷程度:

メモ: ⑩補修・補強材の損傷-c

前回損傷程度: c

メモ: 写真20の近接

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	22	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

壁部側面の鉛直方向のひびわれ

その他損傷
・ひびわれ-d(大小)

W=0.3mm,L=1100mm

ひびわれ幅に進行が見られる

写真番号	前回-25	径間番号	1
部材名	橋脚[柱部・壁部]	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

⑩補修・補強材の損傷-c

損傷図にW=0.1mm,L=1100mmのひびわれの記載あり

写真番号	23	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

－

メモ

柱部側面のうき

その他損傷
・うき-e[1400mm×300mm]

新規損傷

写真番号	24	径間番号	1
部材名	柱部・壁部	要素番号	0102
損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c

前回損傷程度

－

メモ

写真23の近接

写真番号	25	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

支承本体の腐食

その他損傷
・防食機能の劣化-e

進行は見られない

写真番号	前回-7	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

①腐食(小大)-c

⑤防食機能の劣化-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	26	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
支承本体の腐食 その他損傷・防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-10	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e

写真番号	27	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
支承本体の腐食 その他損傷・防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-8	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e

写真番号	28	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
写真27の反対側 進行は見られない

写真番号	前回-9	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	29	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-11	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e

写真番号	30	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
写真29の反対側 進行は見られない

写真番号	前回-12	径間番号	1
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食(小大)-c ⑤防食機能の劣化-e

写真番号	31	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
防護柵の腐食 その他損傷・防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-27	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食-c ⑤防食機能の劣化-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	32	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
防護柵の腐食 その他損傷・防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-28	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食-c ⑤防食機能の劣化-e

写真番号	33	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	a

前回損傷程度
e
メモ
投物防止柵のツタの繁殖が撤去されている

写真番号	前回-29	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑰その他-e(ツタの繁殖)

写真番号	34	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
防護柵の腐食 その他損傷・防食機能の劣化-e 進行は見られない

写真番号	前回-31	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
①腐食-c ⑤防食機能の劣化-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	35	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない

写真番号	前回-32	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度:

メモ: ①腐食-c
⑤防食機能の劣化-e

写真番号	36	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない
ツタの繁殖は撤去済

写真番号	前回-33	径間番号	1
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度:

メモ: ①腐食-c
⑤防食機能の劣化-e

写真番号	37	径間番号	1
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度: e

メモ: ツタの繁殖

進行は見られない

写真番号	前回-34	径間番号	1
部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度:

メモ: ⑰その他-e(ツタの繁殖)

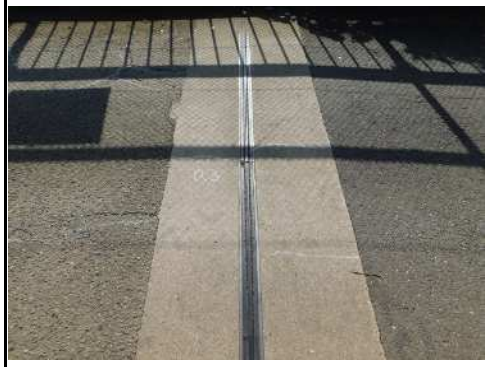
データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	38	径間番号	1
部材名	伸縮装置	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e



前回損傷程度
－
メモ
後打材のひびわれ (W=0.3mm) 腐食、防食機能の劣化、変色・劣化は見られない

写真番号	39	径間番号	1
部材名	伸縮装置	要素番号	0101
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	a

前回損傷程度
e
メモ
伸縮装置の変色・劣化は見られない

写真番号	前回-36	径間番号	1
部材名	伸縮装置	要素番号	0101
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑲変色・劣化-e

写真番号	40	径間番号	1
部材名	舗装	要素番号	0101
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
舗装にひびわれが見られる W=10.0mm

写真番号	前回-38	径間番号	1
部材名	舗装	要素番号	0101
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
⑮舗装の異常-c

写真番号	41	径間番号	1
部材名	舗装	要素番号	0101
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
写真40の近接

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	42	径間番号	1	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名	添架物	要素番号	0201	部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類	防食機能の劣化	損傷程度	e	損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度	前回損傷程度	前回損傷程度
－		
メモ	メモ	メモ
標識板取付金具の防食被膜の変色 新規損傷		

写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名		要素番号		部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度	前回損傷程度	前回損傷程度
メモ	メモ	メモ

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	1001	径間番号	1	写真番号	1002	径間番号	1	写真番号		径間番号	
部材名	落橋防止システム	要素番号	0102	部材名	地覆	要素番号	0201	部材名		要素番号	
損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類		損傷程度	

	前回損傷程度		前回損傷程度		前回損傷程度
	メモ		メモ		メモ
	要素健全 Sf0102,0202		要素健全		

写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名		要素番号		部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

	前回損傷程度		前回損傷程度		前回損傷程度
	メモ		メモ		メモ

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-
備考							

損傷写真

写真番号	43	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
スペーサの露出 150×150mm 進行は見られない

写真番号	前回-39	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
⑦剥離・鉄筋露出-c

写真番号	44	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度
c
メモ
スペーサの露出 150×100mm 進行は見られない

写真番号	前回-41	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c

前回損傷程度
メモ
⑦剥離・鉄筋露出-c

写真番号	45	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
セパレータ後埋めモルタル脱落 進行は見られない

写真番号	前回-43	径間番号	2
部材名	主桁	要素番号	0101
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑪その他-e(モルタル詰め忘れ)

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

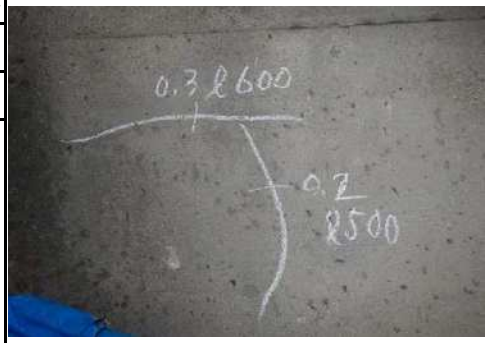
写真番号	46	径間番号	2	写真番号	前回-46	径間番号	2	写真番号	47	径間番号	2
部材名	竪壁	要素番号	0102	部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0102	部材名	竪壁	要素番号	0102
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: 竪壁の水平方向のひびわれ
W=0.3mm
L=600mm

鉛直方向のひびわれ
W=0.2mm
L=500mm

進行は見られない



前回損傷程度:

メモ: ⑥ひびわれ(大小)-d

前回損傷程度: d

メモ: 写真46の近接

写真番号	48	径間番号	2	写真番号	前回-49	径間番号	2	写真番号	49	径間番号	2
部材名	竪壁	要素番号	0102	部材名	竪壁	要素番号	0102	部材名	竪壁	要素番号	0102
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d

前回損傷程度: d

メモ: 100×100mm
× 2箇所

進行は見られない

前回損傷程度:

メモ: ⑦剥離・鉄筋露出-d

前回損傷程度: d

メモ: 写真48の防錆処理後

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	50	径間番号	2
部材名	竪壁	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
竪壁の漏水 進行は見られない

写真番号	前回-50	径間番号	2
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑳漏水・滞水-e

写真番号	51	径間番号	2
部材名	竪壁	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
竪壁の漏水 進行は見られない

写真番号	前回-51	径間番号	2
部材名	橋台[竪壁]	要素番号	0102
損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
⑳漏水・滞水-e

写真番号	52	径間番号	2
部材名	橋台その他	要素番号	0102
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度
e
メモ
変位制限装置上部の土砂堆積 24土砂詰まり-e→⑰その他-eに評価変更 進行は見られない

写真番号	前回-52	径間番号	2
部材名	橋台[その他]	要素番号	0102
損傷の種類	土砂詰り	損傷程度	e

前回損傷程度
メモ
24 土砂詰り-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	53	径間番号	2
部材名	橋台その他	要素番号	0102
損傷の種類	その他	損傷程度	e

前回損傷程度

e

メモ

変位制限装置上部の土砂堆積

24土砂詰まり-e→⑰その他-eに評価変更

写真番号	前回-53	径間番号	2
部材名	橋台[その他]	要素番号	0102
損傷の種類	土砂詰り	損傷程度	e

前回損傷程度

メモ

24 土砂詰り-e

写真番号	54	径間番号	2
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

支承本体の腐食、土砂詰まり

その他損傷
・防食機能の劣化-e
・支承部の機能障害-e
・土砂詰まり-e

進行は見られないが、新たに支承部の機能障害-eとして評価した

写真番号	前回-44	径間番号	2
部材名	支承本体	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e
24土砂詰り-e

写真番号	55	径間番号	2
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

c

メモ

支承本体の腐食、土砂詰まり

その他損傷
・防食機能の劣化-e
・土砂詰まり-e

進行は見られない

写真番号	前回-45	径間番号	2
部材名	支承本体	要素番号	0202
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度

メモ

①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e
24土砂詰り-e

データ記録様式（その10） 損傷写真	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	56	径間番号	0
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない

写真番号	前回-54	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度:

メモ: ①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e

写真番号	57	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない

写真番号	前回-55	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0101
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度:

メモ: ①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e

写真番号	58	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない

写真番号	前回-56	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0201
損傷の種類	腐食	損傷程度	c

前回損傷程度:

メモ: ①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e

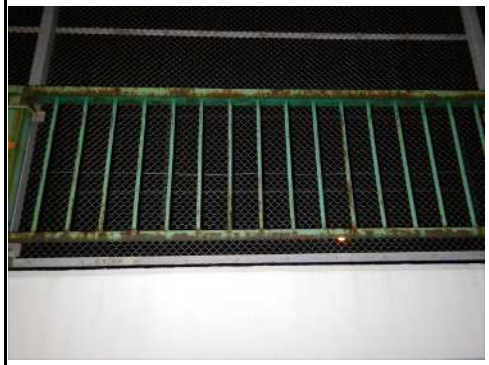
データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	59	径間番号	2	写真番号	前回-57	径間番号	2	写真番号	60	径間番号	2
部材名	防護柵	要素番号	0201	部材名	防護柵	要素番号	0201	部材名	伸縮装置	要素番号	0102
損傷の種類	腐食	損傷程度	c	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	損傷の種類	その他	損傷程度	e



前回損傷程度: c

メモ: 防護柵の腐食

その他損傷・防食機能の劣化-e

進行は見られない

前回損傷程度:

メモ: ①腐食(小大)-c
⑤防食機能の劣化-e

前回損傷程度: －

メモ: 後打材のひびわれ
W=0.3mm

新規損傷

写真番号	61	径間番号	2	写真番号	62	径間番号	2	写真番号	前回-58	径間番号	2
部材名	伸縮装置	要素番号	0102	部材名	舗装	要素番号	0101	部材名	舗装	要素番号	0101
損傷の種類	変色・劣化	損傷程度	e	損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c	損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c

前回損傷程度: －

メモ: 目地材の劣化

新規損傷

前回損傷程度: c

メモ: 舗装にひびわれが見られる

W=10.0mm

前回損傷程度:

メモ: ⑮舗装の異常-c

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	63	径間番号	2	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名	舗装	要素番号	0101	部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c	損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度	c	前回損傷程度		前回損傷程度	
メモ	写真64の近接	メモ		メモ	

写真番号		径間番号		写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名		要素番号		部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度		前回損傷程度		前回損傷程度	
メモ		メモ		メモ	

データ記録様式（その10） 損傷写真	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－
備考							

損傷写真

写真番号	2001	径間番号	2	写真番号	2002	径間番号	2	写真番号	2003	径間番号	2
部材名	床版	要素番号	0101	部材名	床版	要素番号	0201	部材名	地覆	要素番号	0101
損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類	NON	損傷程度	a

前回損傷程度

メモ
要素健全

前回損傷程度

メモ
要素健全

前回損傷程度

メモ
要素健全

写真番号	2004	径間番号	2	写真番号		径間番号		写真番号		径間番号	
部材名	地覆	要素番号	0201	部材名		要素番号		部材名		要素番号	
損傷の種類	NON	損傷程度	a	損傷の種類		損傷程度		損傷の種類		損傷程度	

前回損傷程度

メモ
要素健全

前回損傷程度

メモ

前回損傷程度

メモ

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	−

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	主桁	Mg	0101	d	W=0.2 L=500	mm	⑩	ひびわれ	
S	C	主桁	Mg	0101	d	50×50	mm		剥離・鉄筋露出	
S	C	主桁	Mg	0101	e				その他	(6)(ツタの繁殖)
S	C	床版	Ds	0101	e				その他	(6)(ツタの繁殖)
S	C	床版	Ds	0201	a				NON	
S	X	PC定着部	Cn	0101	−					
A	C	胸壁	Ap	0101	c				剥離・鉄筋露出	
A	C	胸壁	Ap	0101	e				漏水・滞水	
A	C	竪壁	Ac	0101	c	300×500	mm		剥離・鉄筋露出	
A	C	竪壁	Ac	0101	e				その他	(6)(ツタの繁殖)
A	C	竪壁	Ac	0101	c	400×200	mm		変形・欠損	
A	C	翼壁	Aw	0101	e				その他	(6)(ツタの繁殖)
A	C	橋台その他	Ax	0101	a				NON	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	d	W=0.3 L=1100	mm	⑬	ひびわれ	
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	c				補修・補強材の損傷	(2)(4)
P	C	柱部・壁部	Pw	0102	e	1900×750他	mm		うき	

データ記録様式(その11) 損傷程度の評価記入表 (主要部材)	径間番号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
S	C	主桁	Mg	0101	c	150×150、150×100	mm		剥離・鉄筋露出	
S	C	主桁	Mg	0101	e				その他	(6)(セパレータCoの脱落)
S	C	床版	Ds	0101	a				NON	
S	C	床版	Ds	0201	a				NON	
S	X	PC定着部	Cn	0101	－					
A	C	胸壁	Ap	0102	a				NON	
A	C	竪壁	Ac	0102	d	W=0.3 L=600	mm	②	ひびわれ	
A	C	竪壁	Ac	0102	e				漏水・滞水	
A	C	翼壁	Aw	0102	a				NON	
A	C	橋台その他	Ax	0102	e				その他	(6)(土砂堆積)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
B	S	支承本体	Bh	0101	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0101	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0102	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0102	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0201	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0201	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0202	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0202	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	アンカーボルト	Ba	0101	a				NON	
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	a				NON	
B	S	アンカーボルト	Ba	0201	a				NON	
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0101	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0102	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0201	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0202	a				NON	
B	S	落橋防止システム	Sf	0102	a				NON	

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)	径間番号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋梁名	ミヤウエハシ 宮上橋	路線名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
B	S	落橋防止システム	Sf	0202	a				NON	
R	S	防護柵	Gf	0101	c				腐食	
R	S	防護柵	Gf	0101	e				防食機能の劣化	(1)
R	S	防護柵	Gf	0201	c				腐食	
R	S	防護柵	Gf	0201	e				防食機能の劣化	(1)
R	C	地覆	Fg	0101	e				その他	(6)(ツタの繁殖)
R	C	地覆	Fg	0201	a				NON	
R	X	伸縮装置	Ej	0101	e				その他	(6)(後打材のひびわれ)
R	A	舗装	Pm	0101	c	W=10.0	mm		舗装の異常	
U	S	添架物	Ut	0201	e				防食機能の劣化	(2)

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	-

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名 称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
B	S	支承本体	Bh	0102	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0102	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0102	e			⑦	支承部の機能障害	(1)
B	S	支承本体	Bh	0102	e				土砂詰まり	
B	S	支承本体	Bh	0202	c				腐食	
B	S	支承本体	Bh	0202	e				防食機能の劣化	(1)
B	S	支承本体	Bh	0202	e				土砂詰まり	
B	S	アンカーボルト	Ba	0102	a				NON	
B	S	アンカーボルト	Ba	0202	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0102	a				NON	
B	C	沓座モルタル	Bm	0202	a				NON	
R	S	防護柵	Gf	0101	c				腐食	
R	S	防護柵	Gf	0101	e				防食機能の劣化	(1)
R	S	防護柵	Gf	0201	c				腐食	
R	S	防護柵	Gf	0201	e				防食機能の劣化	(1)
R	C	地覆	Fg	0101	a				NON	
R	C	地覆	Fg	0201	a				NON	

データ記録様式(その12) 損傷程度の評価記入表 (データ記録様式(その11)に記載以外の部材)	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			損傷程度			損傷パターン	損傷の種類	分類
		名 称	記号	要素番号	損傷程度の評価	定量的に取得した値	単位			
R	X	伸縮装置	Ej	0101	e				その他	(6)(後打材のひびわれ)
R	X	伸縮装置	Ej	0101	e				変色・劣化(目地材)	(2)
R	A	舗装	Pm	0101	c	W=10.0	mm		舗装の異常	

データ記録様式（その13） 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月8日	前回定期点検	点検日	2016年10月20日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
S	C	主桁	Mg	01	ひびわれ(d)、剥離･鉄筋露出（d）、その他(e)			剥離･鉄筋露出（d）、その他(e)		
S	C	床版	Ds	00	その他(e)			その他(e)		
S	X	PC定着部	Cn	01	目視不可					
A	C	胸壁	Ap	01	剥離・鉄筋露出(c)、漏水・滞水(e)			剥離・鉄筋露出(c)、漏水・滞水(e)		
A	C	竪壁	Ac	01	剥離・鉄筋露出(c)、その他(e)、変形・欠損(c)			剥離・鉄筋露出(c)、その他(e)、変形・欠損(c)		
A	C	翼壁	Aw	01	その他(e)			その他(e)		
A	C	橋台その他	Ax	01	NON(a)					
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(d)、補修・補強材の損傷(c)、うき(e)			ひびわれ(c)、補修・補強材の損傷(c)、うき(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c)、防食機能の劣化(e)			腐食(c)、防食機能の劣化(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	NON(a)					
B	S	沓座モルタル	Bm	00	NON(a)					
R	S	防護柵	Gf	00	腐食(c)、防食機能の劣化(e)			腐食(c)、防食機能の劣化(e)、その他(e)		
R	C	地覆	Fg	00	その他(e)			その他(e)		
R	X	伸縮装置	Ej	00	その他(e)			腐食(c)、防食機能の劣化(e)、変色・劣化(e)		
R	A	舗装	Pm	00	舗装の異常(c)			舗装の異常(c)		

データ記録様式（その13） 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	1

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月8日	前回定期点検	点検日	2016年10月20日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
U	S	添架物	Ut	00	防食機能の劣化(e)					

データ記録様式（その13） 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	2

起点側	緯度	35° 46′ 50.0″	終点側	緯度	35° 46′ 50.9″	橋梁ID	35.78056,139.56264
	経度	139° 33′ 45.5″		経度	139° 33′ 46.6″		

フリガナ 橋 梁 名	ミヤウエハシ 宮上橋	路 線 名	市道第4177号線	管理者	新座市都市整備部道路課	橋梁コード	－

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月8日	前回定期点検	点検日	2016年10月20日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類（程度）			損傷の種類（程度）		
S	C	主桁	Mg	01	剥離･鉄筋露出（c）、その他(e)			剥離･鉄筋露出（c）、その他(e)		
S	C	床版	Ds	00	NON(a)					
S	X	PC定着部	Cn	01	目視不可					
A	C	胸壁	Ap	02	NON(a)					
A	C	竪壁	Ac	02	ひびわれ(d)、漏水・滞水(e)					
A	C	翼壁	Aw	02	NON(a)					
A	C	橋台その他	Ax	02	その他(e)			その他(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c)、防食機能の劣化(e)、支承部の機能障害(e)、土砂詰まり(e)			腐食(c)、防食機能の劣化(e)、土砂詰り(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	NON(a)					
B	S	沓座モルタル	Bm	00	NON(a)					
R	S	防護柵	Gf	00	腐食(c)、防食機能の劣化(e)			腐食(c)、防食機能の劣化(e)		
R	C	地覆	Fg	00	NON(a)					
R	X	伸縮装置	Ej	00	その他(e)、変色・劣化(e)					
R	A	舗装	Pm	00	舗装の異常(c)					